



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2023年9月号ブリテン

通算第144号 2023.9.28



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

2022—2023年度 主 題 (Theme)

国際会長: (IP) ウルリック・ラウリドセン(デンマーク) 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長: (A・P) 利根川恵子(川越クラブ) 「変革のための光となろう」
東日本区理事: (RD) 山田公平(宇都宮クラブ) 「未来のために今、学びと気づきを!
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
北東部長: 大久保 知宏(宇都宮) 「ユースと共にクラブのミッションをそだてよう」
仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健 「震災とコロナを乗り越えた力でワイズとYMCAの協働を進めよう」

今月の聖句

「善を行い、善い行いに富み、物惜しみをせず、喜んで分け与えるように。」

テモテへの手紙— 6章18節

加藤 雄一

巻頭言

生成AIを活用して作業の効率化?

加藤 雄一

最近はやりのChatGPTをはじめとした生成AIを私は積極的に使っています。正確さはまだまだの生成AIですが、思考を整えるときにいろいろな発想のヒントが出てくるので参考にしています。生成AIに限らずAIやロボットは、多くの職業をなくしてしまうのではないかとされるほど効率よく、正確に、すばやく処理してくれるのが特徴ですが、共感などの感情に訴えるところは苦手としています。ですので、生成AIで何か文章を書くときに、私の思いや感情を掬い取って言いたいことを上手に表現してはくれません。結局、文章作りにこれまで以上に時間がかかる結果と今のところなっています。

例えば、「スポーツの秋。運動を始めます。」を200文字程度のコラムを書くようにと指示をChatGPTに出します。以下、ChatGPTの回答

秋の訪れとともに、スポーツのシーズンも到来です。気温が落ち着き、体を動かすには最高の季節といえるでしょう。公園では家族連れや友人たちがフリスビーやバドミントンを楽しんでいます。

- 2ページ目に続きます -

秋は新しい趣味や習慣を始めるのにピッタリの時期。清々しい秋風を感じながら、日々の運動を楽しむことで心も体もリフレッシュ。運動を始めるなら、今がチャンスです。心地よい汗を流し、秋空のもとでスポーツを満喫しましょう。この秋、あなたも新しいスタートを切りませんか？

「自転車、ダイエット、新しい出会いのキーワードを入れて、ワクワク感を入れて私目線で書いてください。60歳の男性が書いています。と指示を変更します。すると

スポーツの秋、運動を始めます。昔に比べて軽くなった身体で、自転車にまた跨りたいと思います。さあ、ワクワクする心を取り戻して、新しい出会いに期待しながら、町を走ります。長年の夢だったダイエットもこの機会に挑戦してみようと思っています。走りながら偶然出会う仲間と笑顔で挨拶を交わし、心も体も軽くなる瞬間を楽しみにしています。季節の移ろいを感じつつ、自然との新しい出会いを求めて、風を感じ、景色を見ながら運動を始めます。60歳になった今だからこそ、価値のある経験になることでしょう。この秋、新たな風を感じに出かけます。

内容が自分と合わなくなりました。昔より実際は身体は重くなっているし、ダイエットは長年の夢ではないし、だんだんと自分の気持ちとずれていきます。面白くなってきました。このようにまだ生成AIだけに任せるのは難しいということなのかなと思います。結局自分で書くことになります。

パンクしていたタイヤを自分で苦労して修理し、秋になり涼くなったので、いよいよ夏太りの体に鞭を打つため自転車を再開することにしました。ダイエットがうまくいけば、新しい出会いもあるかもしれません。そんな下心まるだしのワクワク感をもって、スポーツの秋を楽しみたいと思います。目標は、泉ヶ岳ヒルクライム！みなさんも一緒にいかがですか？

これがいいとは思いませんが、最初からやればよかったと反省しています。最後にこの文章をAIに評価してもらいました。

文章は非常に良く、秋の訪れと共に新しい始まりへの期待とワクワク感を上手く表現しています。自身で自転車のタイヤを修理した経験を共有することで、読者にあなたの前向きな取り組みと決意を感じさせています。

また、「夏太りの体に鞭を打つ」という表現がユーモラスであり、ダイエットの挑戦に対する軽やかな気持ちを表現しています。「新しい出会いもあるかもしれません」という部分は期待と希望を示しており、読者にも共感と呼ぶポジティブなメッセージを送っています。最後に具体的な目標「泉ヶ岳ヒルクライム」を挙げることで、あなたの決意と具体的な目標が明示され、読者を励ます力強いメッセージを結んでいます。読者に「みなさんも一緒にいかがですか？」と問いかけることで、コミュニティを形成し、読者を巻き込む形になっています。全体的に、文章は自身の体験と期待を織り交ぜながら、読者を勇気づける力強いメッセージを送ることに成功しています。いい感じですよ！

皆さんもAI使ってみてください。長い巻頭言となりました。

2023～2024 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	メネット副会長	加藤 真紀子	ユース	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	地域奉仕CS	阿部 松男	YMCAサービス	門脇 秀知
書 記	多田 修	地域奉仕CS	佐藤 健吾	YMCAサービス	佐藤 善人
書記補佐	増山 和憲	会員増強EMC	加藤 研	ブリテン	増山 和憲
会 計	多田 修	会員増強EMC	清水川 洋	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会計補佐	多田 純子	DBC	菅野 健	ドライバー	増山 和憲
監 査	加藤 雄一	DBC	村井 伸夫	担当主事	増山 和憲
メネット会長	多田 純子	ユース	佐藤 剛		

9月第1・第2合同例会 強調月間：CS							
在籍者	12名	出席者	5名	メイキャップ	0名	出席率	41%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	1名	ニコニコ	5,000円		

◆9月第1・第2合同例会報告◆

日 時：9月13日（水）18：45～

場 所：仙台YMCA立町会館

参加者：加藤研メン、加藤雄一メン、菅野メン、多田メン、加藤メネット、多田メネット、増山

ゲスト：佐竹辰太郎（仙台YMCA職員）

・菅野会長より8月23日（水）に実施された4クラブ合同納涼例会と北東部会は30名位の参加者だったと報告があり、これからの行事に関して協議していきましょうとの挨拶で例会が始まりました。

【協議事項】

1) チャリティーランについて

・担当職員の佐竹さんより、日程や場所、注意事項について連絡があり、広瀬川ワイズメンで実行委員長の加藤研メンより「4年ぶりに行われるチャリティーラン。以前よりも駅伝のチームやファミリーランのチームは減ってきているが、実施することが大切」ということと「YMCAの発信力が弱くなってきているのではないかと？発信力を強めていく必要がある。」「広瀬川ワイズメンの佐藤剛メンが熱意を持って関わっている。みんなで労って欲しい。」との言葉がありました。

仙台広瀬川ワイズメンズクラブからも協賛スポンサーとして1チーム出場する。

2) 「日本語でプレゼンテーション」計画

・加藤研メンより、今年度の提案として日程、場所、予算などの提案がなされた。日程は11月18日（土）の開催、場所は仙台YMCA立町会館と決まったが、当日プログラムの兼ね合いもあり、実施する教室は、10月第2例会までに決定させることになった。

・連絡、報告では、9月29日（金）～10月1日（日）で東京YMCA山中湖センターにて、リーダーズフォーラムが開催される。仙台YMCAからも2名のユースボランティアリーダーがワイズの皆様から支援をいただき参加することと、10月19日（木）に行われるチャリティーゴルフでは、仙台広瀬川ワイズメンズクラブからは、例年と同様に国際・地域協力募金の1つの『じゃがいも』か『かぼちゃ』のどちらか2箱を協賛品としていく話がされました。

（報告者：増山）

理事メッセージ

23-24 東日本区理事

山田 公平

ユースアクションを変化へのチャンスに

最初のユースアクションは、2022-23年度のワイズ年度に全国10か所で実行されました。この1年、2022年9月の中間報告会、11月の日本YMCA同盟大会、2023年2月東西日本区交流会、6月の東日本区大会、さらにはユース委員会で報告を聴く機会を与えられました。このようなユースの意欲、発想、強い意識で行われたユースアクションにはインパクトがありました。参加したユースにとっては、大きな自信、あるいは何か新しい自分らしさを発見したり、ユースにとっては大きな成功体験になったと思います。このプロジェクトを見ながら、若者たちの未来を作る助けになり、彼らの未来が何であれ、この成功体験はきっと彼ら彼女らの未来を創ることにつながっていくと思います。これこそワイズの願いであり、YMCAと共に使命として考えられることだと感じました。

ワイズの役割は？

私の本年度の理事主題として挙げたのは、「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」という言葉です。未来社会にユースが迎える課題が何であり、それらに備え、自らが動きながら学びと気づきを得る機会を必要としていると考えます。未来社会に生きるユース世代には、変えていくための自信が育まれていくことが大切です。その結果、自分たちの知恵と協力と勇気があれば、より有意義な人生を築けるという自信を感じてもらうことではないでしょうか。

そのためにワイズはどういう変化をしていくのでしょうか？

昨年度のユースアクションは、高く評価されましたが、ユースアクションにかかわる機会がなかったという評価も聞こえてきます。全国で10か所ですから、多くのクラブにはユースアクションを知らない、効果が見えない、感じられないということでした。東日本区大会や東西日本区交流会で報告したユースの堂々とした姿には、多くの人が驚かされたと思います。まさに、自信が育まれたということや社会に役立てたという喜びを感じられた体験になったということが聴く側にも感じられました。

昨年度東日本区では、6つのユースアクションが行

われました。もりおか YMCA、とちぎ YMCA、中央大学 YMCA、山梨 YMCA、YMCA 外の団体である埼玉にある大学のサークル活動、静岡県富士宮市にある高校でも行われました。ユースプロジェクトに直接かかわることは出来なくても、時々ユースを招いて報告を聴く、実際の活動現場を訪ねてみる、食事会などにユースメンバーを誘うなどしていくことが大切です。ユースを本当に支えているのか、ユースエンパワメントにつながっているのか実感することがワイズの変化を生み出すことになると思います。その意味では、もっと地域ごとにワイズメンバーがユースアクションを興し、サポートすることが必要だと実感しました。このままでは自分たちワイズのプロジェクトになっていないと思いました。ワイズの変化はそこから始まると思います。

第29回仙台YMCA

インターナショナル・チャリティーラン 2023

9月23日(土・祝)に第29回仙台YMCAインターナショナル・チャリティーラン2023が富谷総合公園グラウンドにて行われました。広瀬川ワイズメンズクラブでも協賛スポンサーとして1チーム出場しました。



4年ぶりに開催されたチャリティーランは、駅伝の部で30チーム、ファミリーランは16チームの参加となりました。天気にも恵まれ、参加した皆様は、心地良い汗を流しながら走っていました。広瀬川ワイズメンズクラブからは、実行委員長の加藤研メン、実行委員の佐藤剛メンが運営に関わり、実りのあるチャリティーランになるように様々な準備を進めていました。仙台YMCA会長であり、広瀬川ワイズメンの菅野健メンも一人ひとりの走りに熱い視線を向けていました。何よりも、チャリティーランの趣旨を理解し、多くの皆様からご支援をいただいたことに感謝申し上げます。

(報告者：増山)

北東部大会報告

久しぶりに一堂に会しての大会が9月2日土曜日、福島市「コラッセふくしま」で開催されました。北東部各クラブ員の他にユースの皆さんが出席されました。

来賓には大島博幸「福島主のあしあとキリスト教会」牧師と山田公平東日本区理事を迎えました。講話は栗原清一キッズケアパークふくしま理事長から、「キッズケアパークふくしま、その役割と課題」のタイトルでいただきました。

パネルディスカッションは「宇都宮市における子どもの貧困への取り組み」のタイトルで、ファシリテーター阿久津知志氏、パネラー濱塚牧人各氏他が担当され、その後、「私たちは今、何に取り組むのか？」について濱塚牧人氏の進行でグループディスカッションが行われました。

(報告者：菅野)



仙台YMCA通信

◆9月29日(金)～10月1日(日)東京YMCA山中湖センターにて第35回ユースボランティア・リーダーズフォーラムが開催されます。仙台YMCAからも2名のユースボランティアリーダーが参加する予定です。

◆第26回仙台YMCAチャリティゴルフが10月9日(木)に泉国際ゴルフクラブにて開催されます。現在、参加者募集及び協賛品の協力依頼を行っております。ご参加及び協賛品のご協力をお願いいたします。

◆山元町イチゴワークが10月15日(日)に実施されます。立町会館出発7:45立町会館解散17:00の予定です。活動内容は未定です。尚、現地集合9:00解散15:00の予定です。ご参加できる場合は、広瀬川ワイズ担当職員の増山までご連絡下さい。

【編集後記】

ブリテンの先月号で、暑い夏について掲載しましたが、少し冷たい風が吹き、秋の気配がしてきました。今年は暖冬とも言われています。異常気象・・・私たちが出来ることは小さいことかもしれませんが、小さいことが大きな力になると思います。未来のことを考えて行動していきたいです。

【K・M】